

## 委託利用申込書 (アミノ酸分析)

下記のとおり分析願います。なお、分析結果の取扱いについては、オープンファシリティ推進支援室登録機器共同利用等実施要項を遵守します。

記

申 込 番 号 (事務局記入欄)	
---------------------	--

※ 下記太枠内のみご記入ください

利用責任者 (支払責任者)	所属機関名	
	組織名(職名)	(                    )
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
利 用 者 (上記利用責任者と異なる場合のみ記入)	所属機関名	
	組織名(職名/年次)	(                    )
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

申込総検体数	検体
--------	----

試料の種類	微生物由来試料    ・    その他 (                    )
微生物不活化処理	おこなった                    ・    おこなっていない
標準液外アミノ酸* の測定希望 (○をつける)	なし    ・    Asn[Asparagine]    ・    Gln[Glutamine]    ・ Aad[2-Aminoadipic acid]    ・    Trp[Tryptophan]    ・ その他(                    )
冷凍保存の必要	なし                    ・    あり
備考 (試料の内容、 前処理方法)	

利用負担金単価	WEBをご確認ください	対応検体数	検体
---------	-------------	-------	----

分析結果受領	年    月    日	受領者名	
--------	-------------	------	--

～ 分析申込の注意事項 ～

分析対象のアミノ酸は以下の37種です。

P-Ser	O-ホスホセリン	Sar	サルコシン	Cysthi	シスタチオニン	NH3	アンモニア
Tau	タウリン	Pro	プロリン	Ile	イソロイシン	Hylys	5-ヒドロキシリシン
PEA	O-ホスホエタノールアミン	Gly	グリシン	Leu	ロイシン	Orn	オルニチン
Urea	尿素	Ala	アラニン	Tyr	チロシン	Lys	リシン
Asp	アスパラギン酸	Cit	シトルリン	Phe	フェニルアラニン	1Mehis	1-メチルヒスチジン
Hyp	ヒドロキシプロリン	Abu	2-アミノ酪酸	b-Ala	$\beta$ -アラニン	His	ヒスチジン
Thr	トレオニン	Val	バリン	b-AiBA	3-アミノイソ酪酸	3Mehis	3-メチルヒスチジン
Ser	セリン	Cys	シスチン	g-ABA	4-アミノ酪酸	Ans	アンセリン
Glu	グルタミン酸	Met	メチオニン	EOHNH2	2-アミノエタノール	Car	カルノシン
						Arg	アルギニン

\*標準液外アミノ酸 (Asn[Asparagine]・Gln[Glutamine]・Aad[2-Amino adipic acid]・Trp[Tryptophan]など)については、検出可能ですが定量分析はできませんのでご注意ください。

Asn, Gln, Aad, Trp、その他のアミノ酸について定量分析を依頼したい場合は、ご自身で標準液を用意していただくことも可能です。その場合、成分濃度2.5  $\mu$ mol/mLの標準液を3mL程度作製し、添付提出してください。

御利用者・分析部門内どちらにも標準液がない場合、発注等含め時間がかかる他、事前打合せが必要となります。

また、アミノ酸成分保全のため、サンプルを冷凍保存する必要がある場合はご連絡ください。

サンプルは以下のように調製してください。

- ・ 試料はHPLC用1.5mLガラスバイアルに入れてください。(推奨：日立ハイテック製HIS3B20)
- ・ 試料量は1検体につき500  $\mu$ L程度用意してください。
- ・ 必ず0.22  $\mu$ m以下のフィルターでろ過してください。
- ・ pH2.2程度となるようにしてください。pHが極端に異なると、正確に測定できないことがあります。
- ・ 各アミノ酸について、試料濃度が500 nmol/mL (=10 nmol/20  $\mu$ L)を超えないようにしてください。定量範囲を外れるほど濃度が高すぎる場合、正確に測定できないだけでなく、流路が詰まり装置が故障する恐れがあります。試料濃度が推定できない場合は事前にご相談ください。装置故障の場合、修理のため当該サンプルの結果送付日を変更させていただきます。
- ・ 前処理は、参考文献・研究既報・別紙などを参考に行ってください。

記載内容に不明な点がある場合や前処理に問題がある場合、申込が受理されない場合があります。分析終了の連絡後は、試料とデータを分析部門に受け取りに来てください。機器トラブルにつき、測定結果送付が遅れる場合がございます。

# 検体一覧（アミノ酸分析）

年      月      日

ページ番号：

申込番号：	合計サンプル数：
-------	----------

検体番号 (4桁の番号)	予想濃度 (最大の成分) [nmol/20 μ L]	標準液外 アミノ酸* の有無	前処理方法 (詳細に記入)

## オープンファシリティ外部利用者免責同意書

筑波大学研究基盤総合センター副センター長（分析部門） 殿

私は、筑波大学研究基盤総合センター分析部門の所有する登録機器の利用に対して、以下の免責事項に同意します。なお、測定又は委託試料についても分析部門担当者の安全を守るために持込試料の性質について情報提供します。

### <オープンファシリティ利用時の免責>

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則（平成25年研究基盤総合センター部局細則第4号）（抄）  
（免責）

- 第19条 第9条により外部利用者が登録機器を利用した場合に、本学はその得られたデータ等を保証しない。第10条による委託利用の場合も同様とする。
- 2 共同利用等の利用により外部利用者に発生した損害又は損失については、本学はいかなる責任を負わず、損害賠償義務は一切ないものとする。

第19条に同意します。

### <測定又は委託試料について>

- 放射性物質、ダイオキシン類、アスベスト等の有害物質ではありません。
- 爆発性ではありません。
- 悪臭を発生しません。
- 毒性はありません。
- 揮発性ではありません。
- 消防法（昭和23年法律第186号）で定義される危険物第1類から第6類までに含まれません。
- 試料としての検体に病原微生物等は含まれません。

注意すべき特記事項

\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

[所属機関] \_\_\_\_\_

[利用者氏名] \_\_\_\_\_

[分析部門担当者氏名] \_\_\_\_\_